

## さいたま市弓道連盟

### さいたま市弓道連盟 10周年記念に寄せて

平成13年5月に浦和市、大宮市、与野市の三市が合併し、「100万都市・さいたま市」が誕生しました。その様な中、互いの体育協会の合併が検討されました。当初具体的な動きはなかったのですが、平成15年に各体育協会を合併する目標ができましたため、各弓道連盟の合併も急務となりました。

平成14年10月12日三市の弓道連盟及び弓道団体の代表者を集め合併に対する意見聴取が支部長の呼び掛けにより行われました。

さいたま市弓道連盟を早期に設立するため、代表幹事に坂本武彦先生を選任し、合併協議会を立ち上げ、会長の選任、具体的な会則等の諸規則案の作成、役員候補者の選定、15年度事業案、予算表の作成をするため、市内の8団体の代表者で月3回のペースで協議をすることといたしました。

第1回の幹事会は平成14年11月に開催され、以降7回の会議が開かれ、会則案、事業案、予算案、役員案等細部にわたる検討がされ、平成15年4月19日のさいたま市弓道連盟設立総会へと歩を進めてまいりました。そして、その各案に対しまして、代表者間の意思の統一を図り、各団体に持ち帰って会員への周知と賛同を得た上で、総会に掛けることといたしました。4月19日さいたま市弓道連盟設立総会に於いて、初代会長に岡田義助先生が選出され、各議案が承認され、会の運営が新たにスタートいたしました。その後、平成17年岩槻市が合併し、岩槻弓道連盟が新たに加入いたしまして会員数486名の大所帯となり、現在に至っております。

事業活動としては各種競技会の開催、技量向上のための講習会、審査のための申請書取りまとめ、広報、会計業務など多岐にわたっております。

競技では、埼玉県弓道連盟で行う県民体育大会、武道大会出場選手の選考会や練成会、さいたま市弓道連盟で行う秋の市民体育大会、さいたま市選手権など150名を超える規模で開催しており、日頃の技量を発揮すべくみんなが懸命に取り組み、また各道場間でも他に負けまいと切磋琢磨しております。



〔武道大会最終予選会のようす〕

年末には、一年間の締めくくりとして納射会を開催しており、その年の総決算をしようと多に盛り上がり、楽しかった事、昇段した喜び、残念ながらおよばなかったこと、色々なことを回想しながら矢を放ちます。また昇段した方のうち、四段・五段の人たちが、多くの弓友たちの前でお披露目をします。着物に袴を付けた正装で男子は片肌を脱ぎ、女子は袴がけをして